

Press Release

2019年3月20日

株式会社シニアライフクリエイト

報道関係者各位

元気で楽しく暮らす高齢者を増やす「健康寿命延伸」に向けての取り組み 配食と薬局が連携 地域貢献事業として活動スタート

2019年3月に第1回を岐阜で開催 今春に全国5カ所での開催を予定

高齢者専門宅配サービスを展開する株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋 洋）は、厚生労働省が推進する“地域高齢者の共食の場における「健康支援型配食サービス」の活用”の取り組みとして自治体と連携した「高齢者向け地域サロン」の開催をスタートしました。

今回の取り組みは地域貢献を目指し、当社が行う配食事業と調剤薬局が協力した取り組みになります。食事と服薬は密接な関係があり、この取り組みと一緒にすることにより、地域のシニアの健康寿命を支える活動になります。

2019年3月8日（金）には、特別養護老人ホーム リバーサイド川島園（岐阜県各務原市）で第1回目の「家族介護教室」を開催しました。当日は、当社管理栄養士による「高齢者の栄養管理」の講話、株式会社トーカイメディカル、トーカイ薬局の薬剤師による「低栄養と薬」の講話、そして“口腔ケア体操”の後、当社が提供する宅配弁当の試食を行いました。昼食後には希望者を対象に個別栄養相談や個別薬相談も行いました。今後、リバーサイト川島園では年2回のペースで開催を継続する予定であり、今回の講話や個別相談後に気をつけた食事で、どのような変化があったかのモニタリングを定期的に行います。

今後は関東、近畿、四国、九州と全国での展開に向けて準備を行い、今春には全国5カ所での実施を予定しています。



当社制作の口腔ケア体操 DVD を使っての体操



当社栄養士による栄養相談



トーカイ薬局の薬剤師による薬の相談

◆地域と連携したコミュニティー作りは4年前からスタート

今後、日本の高齢化はさらに進み、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など介護ニーズが増えると予測されていますが、ケアを行う人材やその費用など従来の福祉、医療制度による対応には限界があると言われています。介護制度の整備も重要ですが、今後はさらに元気で楽しく暮らす高齢者を増やす「健康寿命延伸」が重要視されます。しかし、元気な高齢者のケアに関しては、地域ごとの取り組みに留まり、ほとんど進んでいない状況があります。

厚生労働省は2017年3月に「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」を制定し、在宅の高齢者の栄養管理を行う配食事業の普及の推進、2018年11月16日に開催された未来投資会議

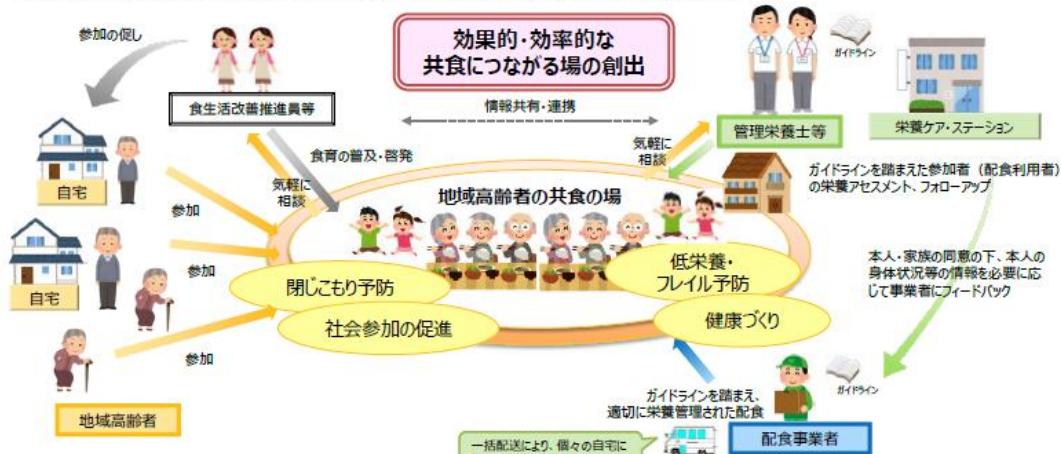
産官協議会「次世代ヘルスケア」会合では“地域高齢者の共食の場における「健康支援型配食サービス」の活用のイメージ”を発表しました。

高齢者専門宅配サービスを行う当社は、4年前より地方自治体と連携した地域のコミュニティ作りに取り組んでおり、当社の管理栄養士による栄養講座はもちろんのこと、地域と一緒にコミュニティ作りを行えるよう「ちぎり絵教室」や「折り紙教室」など、元気な高齢者が新しい趣味を見つけられるような様々なアクティビティの提供も行ってきました。

今回開始する取り組みは、各地の調剤薬局と連携し、現在の社会の課題を解決することを目指しています。今まで培ってきたコミュニティ作りを生かし、全国の自治体、地域と連携して高齢者の共食の場の提供を行っていく事業となります。

地域高齢者の共食の場における「健康支援型配食サービス」の活用イメージ

適切な栄養管理に基づく配食サービスを地域の共食の場に活用することにより、地域高齢者の低栄養・フレイル予防にも資する、効果的・効率的な健康支援の広がりが期待される。



*「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」(平成29年3月厚生労働省健康局策定)

- 日々の配食には教材的役割が期待され、適切に栄養管理された食事が提供される必要があることから、献立作成の対応体制、基本手順、栄養価のばらつきの管理等の在り方について、我が国として初めて整理。
 - 利用者の適切な食種の選択を支援する観点から、
 - ・ 配食事業者は利用者の身体状況等について、注文時のアセスメントや継続時のフォローアップを行うとともに、
 - ・ 利用者側は自身の身体状況等を正しく把握した上で、配食事業者に適切に伝えることが重要であり、その基本的な在り方を整理。
 - 献立作成や、配食利用者に対する注文時のアセスメントと継続時のフォローアップについては、管理栄養士又は栄養士（栄養ケア・ステーション等、外部の管理栄養士を含む。）が担当するふくを推奨。

11

平成 30 年 12 月 12 日 厚生労働省健康局健康課発表「社会全体での予防・健康づくりの推進」より

◆「低栄養」をテーマに管理栄養士と薬剤師が個別アドバイス

当社には管理栄養士が 7 名所属しています。現在までも全国のコミュニティーで「栄養講座」を、地域包括支援センターの要望のもと開催してきました。今回の「特別養護老人ホーム リバーサイド川島園」で開催した「家族介護教室」でも希望者に対して個別相談を行いました。個別相談で使用するアドバイスシートは一般社団法人在宅栄養推進基金及び栄養ケアプランニング株式会社が提供する「栄養ケア支援システム（栄養ケアパッド・アプリケーション）」を用いて栄養状態チェックを行いました。

栄養ケア支援システムはタブレット型端末（iPad・iPhone）に、ダウンロードして利用するアプリケーションです。栄養状態（低栄養状態）評価、BMI 評価（肥満

栄養アセスメントアドバイシート			
店名	(例) 生年月日	昭和10年5月29日(例)	店舗名 新規店舗(例)
年齢	180.0 cm		やまのやの...三人 萬喜(山喜)タカヒコ
性別	40.0 kg		萬喜(山喜)タカヒコ
BMI	20.4	調査	店長のその他 UD 1区段
標準体重	49.5 kg		UD 1区段
肥満度	-7.1 %		
基礎エネルギー消費量	全エネルギー消費量	摂取目標エネルギー量	
877 Kcal	1,279 Kcal	1,313 Kcal	

詳細

■お出直しに対する食事構造の指導です。
後述以下で示すを参考ください。

今後、营养アセスがおすすめの時期があります。

新規のお客様は積極的に採りましょう。既存顧客は既存の飲食習慣を重視し、ビタミンAの不足が問題などには既存顧客においても、勧めの飲食を手始めに取り組みます。あらわらの飲食や買物の傾向が変わっています。

時季の便のいい商品を、年代をよくするビタミン、ミネラルを多く含む商品を中心に配置しましょう。また、木や竹の器を活用してみたい。必要に応じて、手渡しで商品説明する商品を活用して、専門よくお客様相手をするといえます。

体重や喫煙の変化に気を配るなどお問い合わせはお手数に掛かり、困ったことがあれば即座に相談しません。また、品質で定期的に10日中の供給量をチェックし、うるわしい方法を教えてもらいましょう。

度体格指數)、エネルギー消費量/摂取目標エネルギー量の算定機能、EAT10(嚥下スクリーニング)、咀嚼嚥下機能に応じた食形態選定機能、栄養ケア・アドバイス機能が内蔵されており、高齢者がアプリの質問に回答するだけで、栄養状態(低栄養の状態)の判定から、「口腔機能に適した食べやすい食事形態」をすすめる栄養ケア・アドバイス機能があります。

栄養ケア・アドバイスは「栄養アセスメント・アドバイスシート」で利用者(高齢者)に手渡し、必要に応じて、主治医やご家族にメール配信することも可能で、健康管理に役立てることができます。

参加者からは「タンパク質をどのくらいの量食べたら良いか教えてほしい」「たくさんは食べられないが体重を増やしたい。どうしたらよいか」などの質問があり、日々の生活に取り入れやすく、わかりやすい例を用いて説明をしました。

◆メニューは栄養バランスを重視し「健康寿命を伸ばせるように」

当社が「高齢者向け地域サロン」で提供する弁当は栄養バランスを最重要視しています。健康に配慮した「普通食」や、活動的で食事を楽しみたい人向けの「健康ボリューム食」、噛む力・飲み込む力が弱っている人向けの「やわらか食」や「ムースセット食」まで全て管理栄養士がメニューを監修しています。

「高齢者向け地域サロン」で個別相談を行い「低栄養」や「生活習慣病」等のリスクがあり、食事改善が必要で配食サービスを希望する人には550円(ごはん付き、税別)で提供している普通食を始め、栄養価の調整が必要な方向けのカロリー・塩分調整食760円(ごはん付き、税別)等全ての商品を半年間399円(ごはん付き、税別)で提供します。栄養バランスが整った食事を続けていただき、半年後の「高齢者向け地域サロン」でどのように変化しているかをモニタリングし、継続した支援を続けていきます。

今後は、「高齢者向け地域サロン」の開催を2019年春に予定している関東、近畿、四国、九州エリアから5カ所の開催をスタートし、地域や調剤薬局と連携しながら取り組みを拡大していきます。

特別養護老人ホーム リバーサイド川島園【家族介護者教室】

日時：2019年3月8日(金) 10時30分～12時00分

場所：社会福祉法人羽島郡福寿会

特別養護老人ホーム リバーサイド川島園 大会議室

参加者：近隣の高齢者10名とその家族、ケアマネジャー

内容：・ご挨拶

各務原市地域包括支援センターリバーサイド川島園

・講話「高齢者の栄養管理」

株式会社シニアライフクリエイト 管理栄養士

・講話「低栄養と薬」

株式会社トーカイメディカル 薬剤師

・口腔ケア体操

株式会社シニアライフクリエイト

・昼食 在宅高齢者向け食事サービスの試食

株式会社シニアライフクリエイト

・希望者のみ管理栄養士・薬剤師による個別相談



【会社概要】

会社名： 株式会社シニアライフクリエイト
代表： 代表取締役社長 高橋 洋
本社： 東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F
TEL. 03-5427-3981
ホームページ： <http://slc-123.co.jp/>
設立： 1999 年 12 月
資本金： 28,000 万円
事業内容： 1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営
2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営
3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫俱楽部」フランチャイズ本部の運営

<報道関係者からのお問い合わせ先>

シニアライフクリエイト広報事務局

担当：柴山（070-1389-0172）

メール：pr@netamoto.co.jp

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788